



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6249 URL <https://www.gjhd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 原 明彦 (TEL) 03-6803-0301
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,852	9.0	189	△40.2	224	△41.5	155	9.7
2022年3月期第1四半期	2,616	20.6	316	—	384	858.1	142	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △38百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 136百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.42	11.37
2022年3月期第1四半期	10.65	—

(注) 2022年3月期第1四半期の営業利益、四半期純利益対前年同四半期増減率は1000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	46,782	41,920	89.6
2022年3月期	48,186	42,179	87.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 41,917百万円 2022年3月期 42,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	13,000	13.6	700	△37.5	700	△44.9	500	△60.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更) 及び (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	14,263,000株	2022年3月期	14,263,000株
2023年3月期1Q	593,112株	2022年3月期	613,312株
2023年3月期1Q	13,658,978株	2022年3月期1Q	13,339,788株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の一時的な落ち着きにより、持ち直しの動きが見られたものの、新たな変異株の出現に加え、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰、半導体をはじめとした各種資材の調達難、円安の急進等から、先行き不透明な状況となっております。

そうした中、当社グループの主要な取引先であるパチンコホールにおいては、遊技機の入替えに伴う店舗改装など、一部に動きが見られるものの、今後のスマートパチンコやスマートパチスロの導入時期を見据え、引き続き設備投資に対して慎重な姿勢が継続しています。

こうした状況のなか、機器売上は前年同期比で増加したものの、市場縮小による加盟店舗数の減少により、増収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,852百万円（前年同四半期比9.0%増）、営業利益は189百万円（同40.2%減）、経常利益は224百万円（同41.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円（同9.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,782百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,404百万円減少いたしました。

これは主に、有価証券が6,200百万円減少した一方で、投資有価証券が2,939百万円、現金及び預金が1,784百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は4,861百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,145百万円減少いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金が1,136百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は41,920百万円となり、前連結会計年度末と比較し259百万円減少いたしました。

これは主に、利益剰余金が82百万円、その他有価証券評価差額金が194百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日付「2022年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,740	6,524
受取手形及び売掛金	1,010	887
営業未収入金	353	333
有価証券	21,902	15,701
供託金	4,190	4,241
商品及び製品	3,312	3,697
原材料及び貯蔵品	139	103
その他	1,025	926
流動資産合計	36,673	32,415
固定資産		
有形固定資産	426	414
無形固定資産	1,808	1,690
投資その他の資産		
投資有価証券	7,901	10,841
その他	1,413	1,459
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	9,278	12,262
固定資産合計	11,512	14,367
資産合計	48,186	46,782
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,280	1,144
営業未払金	11	7
未払法人税等	64	94
引当金	214	298
その他	1,033	1,004
流動負債合計	3,605	2,547
固定負債		
引当金	36	35
退職給付に係る負債	447	459
その他	1,918	1,818
固定負債合計	2,402	2,314
負債合計	6,007	4,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	4,994	4,988
利益剰余金	32,343	32,260
自己株式	△747	△723
株主資本合計	42,090	42,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	△107
その他の包括利益累計額合計	86	△107
新株予約権	2	2
純資産合計	42,179	41,920
負債純資産合計	48,186	46,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,616	2,852
売上原価	1,311	1,475
売上総利益	1,304	1,376
販売費及び一般管理費	987	1,187
営業利益	316	189
営業外収益		
受取利息	17	26
受取配当金	8	6
投資有価証券売却益	38	4
その他	4	1
営業外収益合計	69	37
営業外費用		
支払利息	1	1
貸倒引当金繰入額	—	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	384	224
税金等調整前四半期純利益	384	224
法人税等	242	68
四半期純利益	142	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	142	155

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	142	155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△194
その他の包括利益合計	△5	△194
四半期包括利益	136	△38
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社は、2022年5月11日付開催の取締役会において、使用するオフィスの一部移転に関する決議をいたしました。これに伴い、当社の定期建物賃貸借契約に伴う原状回復費用に係る資産除去債務につきましては、移転予定日までの期間で資産除去債務の費用計上が完了するように変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。